

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 将来を見据えた保育計画を(30分)</p> <p>4月は新年度、新入学新入園の時候です。</p> <p>それを目前にした2月、東京都の足立区や杉並区で認可保育所に子どもを預けられない母親たちが、行政不服審査法に基づく異議申立てを行いました。ブログ等で物議をかもしたこともあり、ご存知の方も多いと思います。4月に入り、国政での議論にもなっていることから待機児童、育児休業の課題がメディアでも目にとまります。</p> <p>3月25日にさいたま市でも保育所増設を求める要望書が提出されています。4月28日の新聞で知りました。その際の記事を読み、本市での状況が気になり今回の質問に至りました。</p> <p>平成25年2月に出されました第5次鶴ヶ島市総合計画の実施計画(第2期)によれば、平成23年度の待機児童はゼロです。しかし、市ホームページによると、平成25年4月1日現在において、公立、私立あわせて待機児童数は、第一希望のみで22名となっています。</p> <p>少子化を社会的な課題としているにもかかわらず、これまで真剣に議論されてこなかったのも不思議なことです。今後、出産後も働く女性が増え続けていくことを考えると、子育て支援の柱となる「保育計画」の重要性を感じます。</p> <p>公共施設診断カルテには、東部保育所と富士見保育所の問題点として、老朽化はもちろん、耐震化を優先としていますが、同時に保育計画の方向性をださなければならないと記されています。</p> <p>施設面からも施策面からも、安心して子育てができるまちであるべきという観点から以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 保育計画の重点施策は (2) 幼保一元化の方向性は (3) 保育所の施設保全・建て替えの方向性は</p>	市長 教育委員会委員長

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p data-bbox="188 360 804 398">2 支え合い協議会の目指すもの(30分)</p> <p data-bbox="153 459 1142 591">鶴ヶ島市第5次総合計画のリーディングプロジェクト「共に支えあう仕組みづくり」は、21%を越えた高齢化率を前に重要な政策であると考えます。</p> <p data-bbox="153 607 1142 734">身近な地域福祉を広げていくだけでなく、協働のまちづくりコミュニティの形成、そして、地域福祉に携わる市民の生きがいの場として、多岐にわたる可能性を含んだ事業であると理解しております。</p> <p data-bbox="153 750 1142 927">この政策の背景には、世界に類を見ないスピードで高齢化が進むわが国で、介護保険制度以前から国や県、市が果たしてきた福祉サービスを、「新しい公共」という考え方のもとに「住民が住民を守る」仕組みにしていこうというものであると解釈できます。</p> <p data-bbox="153 943 1142 1025">現在、富士見地区地域支え合い協議会も2年目に入り、活発な活動が展開されております。</p> <p data-bbox="153 1041 1142 1361">5月5日の新聞報道によると、厚生労働省は、介護保険制度で「要支援」と認定された軽度者向けのサービスを見直す方針を決めたとあります。要支援を介護保険サービスから外し、ボランティアなどを活用した市町村の事業で支援する方向で具体策を検討するという事です。また、「地域支え合い体制づくり事業」と名付けられている厚生労働省の介護基盤緊急整備等臨時特例基金を見ますと、地域でのセーフティーネットワークの整備を期待しているものと受け取れます。</p> <p data-bbox="153 1377 1142 1505">市町村や高齢者の実情に応じた支援策ということですが、当市の支え合い協議会も同じ方向性を持っているのか、そして、目指している着地点についてうかがいます。</p> <p data-bbox="204 1565 986 1697">(1) 支えあい協議会の目指すものについて (2) 持続可能な運営の方向性について (3) 「新しい公共」という考え方との関連について</p>	市長